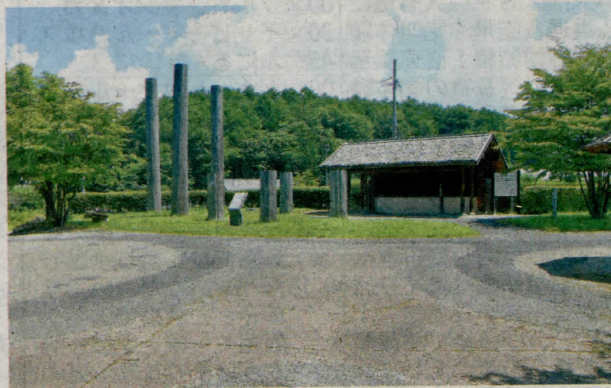


茅野市「仮面の女神」出土の中ッ原遺跡など3件

市文化財指定へ諮問

市教委 来月審議委員会に

茅野市教育委員会は25日、定例会を開き、国宝土偶「仮面の女神」が出土した中ッ原遺跡（湖東）、永明寺山古墳（ちの）、永明寺山古墳出土遺物の計3件の市文化財指定について



茅野市文化財指定について諮問されることになった中ッ原遺跡。現在中ッ原縄文公園として整備されている

て市文化財審議委員会に諮問することを決めた。

中ッ原遺跡は縄文時代中期後期を中心とした遺跡で、広さは1276平方メートル。2000年に仮面の女神が出土した。現地では周辺の墓

壙群とともに出土状況が分かるよう展示されている。02年には中ッ原縄文公園として整備された。今年が仮面の女神出土から25年の節目でもあることから、文化財指定の諮問を検討していた。市教委は「縄文時代中期から後期にかけての八ヶ岳西南麓の代表的な遺跡」としている。

永明寺山古墳は永明寺山公園墓地の造成に伴い13年に調査された。古墳の残存状態が良好で、古墳が復元さ

れている。出土遺物から、7世紀に造られた古墳と推定されている。

永明寺山古墳出土遺物は同古墳から出土した252点で、銀象眼装飾が施された鍔のある大刀をはじめ土師器や須恵器などが見つかっている。鉄製の矢尻である「鉄鏃」は時期ごとの変遷を見ることができ資料とされている。遺物は現在、同市尖石縄文考古館で保管されている。

市教委は8月7日に市文化財審議委員会に諮問する予定。（小尾口有二）